RYOYO

60th BUSINESS REPORT Autumn

中間決算のご報告

2019.02.01～2019.07.31

菱洋エレクトロ株式会社

証券コード：8068

株主の皆様へ

当社第60期 第2四半期累計期間（以下「中間期」）のビジネスレポート・秋号をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

代表取締役社長
中村　守孝

当期の概況

当中間期（2019年2月1日～2019年7月31日）における国内経済は、雇用や所得環境の改善が続いたものの、米中貿易摩擦を背景に輸出や設備投資の面で弱さが見られたほか、世界経済の減速懸念が高まるなど、引き続き先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの属するエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやデータセンター向け製品を中心に需要が低迷する一方、Windows7のサポート終了や消費増税を控えたパソコン向けの需要が堅調に推移いたしました。また、人手不足や少子高齢化といった社会課題や働き方改革の観点から、自動化ソリューションへのニーズは一段と増加しており、AIやIoT関連市場の拡大に繋がるものと期待されております。

このような環境の下、当中間期における当社グループの売上高は542億29百万円（前年同期比20.2％増）、営業利益は10億61百万円（前年同期比34.1％増）、経常利益は11億40百万円（前年同期比27.8％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億96百万円（前年同期比28.5％増）となりました。

中期的な取り組み

当社グループは一昨年度（2018年1月期）より、ビジネスユニット制への移行やビジネスプロセスの見直しといった体制面の整備に加え、当社グループの置かれている状況や目指すべき姿を共有することで意識改革に取り組んでまいりました。エレクトロニクス商社の存在価値がますます問われていく中、当社グループにとっては“いかに存在価値を示すか”ということが重要な課題となってまいります。今年度よりスタートした3ヶ年ビジネスプランでは、商社本来の本質的な役割について再構築を図りつつ、世の中の変化に合わせた新しい取り組みを推進しております。新たに取り組んでいる戦略の骨子の一つの「Only RYOYOへの挑戦（当社固有の強みの創出）」においては、Only RYOYOを具体化したビジネスの採用が決まるなど、着実に成果に繋がりはじめています。

当社グループは今年度を3ヶ年ビジネスプランの中でも非常に重要な1年と位置付けており、今後の成長に向けた「攻めの投資」を行いつつ、2期連続での増収増益を達成することが高付加価値型企業への変革を遂げる第一歩になると考えています。そのためには常に「顧客」に目を向け、そしてステークホルダーの皆様に感動をご提供できるよう、“VALUE and PRIDE”の行動指針に基づいて自発的かつ精力的に企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主還元について

当連結会計年度の株主還元につきましては、純資産配当率（DOE）3%を目標とした安定的な配当の実施を基本方針としてまいります。

本方針に基づき、当期の中間配当金につきましては、前期から10円増配となる1株につき40円とさせていただきました。

また、期末配当金につきましても、中間配当金と同じく1株につき40円（年間配当金は1株につき80円）を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年9月

品目別売上高の概況

■ 半導体/デバイス
売上高は275億57百万円で、前年同期より32億75百万円（13.5%）増加しました。
これは、主にデジタル家電向け半導体が増加したためです。

■ ICT/ソリューション
売上高は266億71百万円で、前年同期より58億19百万円（27.9%）増加しました。
これは、主にパソコン用ソフトウェアが増加したためです。

（単位：百万円）

■ 半導体/デバイス

（単位：百万円）

■ ICT/ソリューション

（単位：百万円）

RYOYO

主要仕入先(半導体/デバイス)

仕入先名	取扱開始年	Analog/ MSIG	Logic	Memory	RF/Opto/ Power	EOL Product	Electronic Device
三菱電機	1961				●		●
Intel	1976		●				
TDKラムダ	1985						●
Macronix	1994			●			
ルネサス エレクトロニクス	2003	●	●	●	●		
Unicorn Electronic	2004						●
NVIDIA ※	2005		●				
サイレックス・テクノロジー	2006						●
セイコーインスツル	2007						●
Marvell Semiconductor	2007		●				
TDK	2007						●
AP Memory（Zentel）※	2007			●			
Lantiq	2009	●	●				
OSRAM Opto Semiconductors ※	2010				●		
Rochester Electronics	2011					●	
Semtech	2012	●	●				
青電舎	2015						●
MPS	2016	●					

※リョーヨーセミコン（100%出資子会社）取り扱い仕入先

主要仕入先(ICT)

仕入先名	取扱開始年	サーバー パソコン	ストレージ ネットワーク	モニター プロジェクター	プリンター プロッター	ソフトウェア	周辺機器 組込機器 他
三菱電機	1961			●	●		
セイコーエプソン	1978	●		●	●		
Hewlett Packard Enterprise/HP	1986	●	●		●	●	
京セラドキュメントソリューションズ	1987				●		
Oracle	1988	●	●				
Microsoft	1994					●	
ハギワラソリューションズ	2001						●
ダックス	2003						●
NVIDIA	2005						●
McAfee	2010					●	
富士通	2010	●	●				
図研エルミック	2012					●	
Empress	2013					●	
Philips	2013			●			
シャープ	2016		●				
ABLOY	2016						●
ウフル	2017					●	
Afero	2017					●	
WatchGuard Technologies	2017		●				

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表（単位：百万円）

連結損益計算書（単位：百万円）

■ 売　上　高

■ 営業利益

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

前中間期
2018.2.1～2018.7.31

当中間期
2019.2.1～2019.7.31

セグメント情報（所在地別）

■ 日本

パソコン用ソフトウェアが増加したことにより、外部顧客への売上高は447億93百万円で、前年同期より65億97百万円（17.3%）増加し、セグメント利益は9億30百万円で、前年同期より1億65百万円（21.6%）増加しました。

■ アジア

デジタル家電向け半導体が増加したことにより、外部顧客への売上高は94億35百万円で、前年同期より24億98百万円（36.0%）増加し、セグメント利益は96百万円で、前年同期より58百万円（157.8%）増加しました。

会社の概要 (2019年7月31日現在)

会社データ

商号	菱洋エレクトロ株式会社 (RYOYO ELECTRO CORPORATION)
本店	東京都中央区築地一丁目12番22号
設立	1961年2月27日
資本金	136億7,200万円
従業員数	連結：549名、単体：499名 (グループ総人員：645名)

役　員

取締役会長	小川　賢八郎	
代表取締役社長	中村　守孝	
代表取締役 専務執行役員	脇　清	
取締役 上席執行役員	田辺　正昭	玉越　義紹
	岡﨑　靖	安田　誠樹
社外取締役	早川　吉春	白石　真澄
常勤監査役	堀切　豊	
社外監査役	木村　良二	野辺地　勉
	秋山　和美	

執行役員

執行役員	鈴木　秀樹	大橋　充幸
	筑波　満	武石　光弘
	佐野　修	

国内・海外ネットワーク

● **ドイツ現地法人（営業開始：2019年4月）**

当社グループ初の欧州拠点

ミュンヘンオフィス

● **マレーシア現地法人（営業開始：2019年10月予定）**

マレーシア国内だけでなくASEAN諸国への営業活動拠点として、2011年に設立した駐在員事務所を現地法人化

株式の状況 (2019年7月31日現在)

RYOYO

■ **発行可能株式総数** ……119,628,800株
■ **発行済株式の総数** …… 26,800,000株
■ **株主数** …… 6,161名

■ **大株主**（上位10名）

株　主　名	株式数(千株)	持株比率(%)
1. 株式会社レスターホールディングス	5,360	21.81
2. 三菱電機株式会社	2,246	9.14
3. エス・エッチ・シー有限会社	2,118	8.62
4. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,410	5.74
5. 株式会社シープ商会	523	2.13
6. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	469	1.91
7. 日本生命保険相互会社	409	1.67
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	404	1.64
9. 株式会社レノ	400	1.63
10. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	393	1.60
合　　計（1～10）	13,735	55.90

(注) 1. 上記大株主のうち、信託銀行2行の持株数は全て信託業務に係る株式であります。
2. 上記の他、当社保有の自己株式が2,226,944株（8.31%）あります。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

■ **所有者別株式分布状況**

■ **所有株式数別株主数分布状況**

音声認識で当社グループ初の特許を取得

当社グループでは3ヶ年ビジネスプランの戦略骨子の一つである「Only RYOYOへの挑戦（当社固有の強みの創出）」として研究開発活動を強化しており、2019年1月には当社グループ初となる特許（音声認識システム及び音声認識装置に係る発明）を取得しました。これは、高付加価値を実現する自社開発・販売に向けた事例であり、今後もOnly RYOYOの源泉となる要素技術の開発を進めてまいります。

特許証

特許第6462936号

音声認識システム、及び音声認識装置

東洋エレクトロ株式会社

宗像直子

現在の活動　～音声認識技術は次のステージへ～

- 音声認識の技術が様々な家電製品のスイッチ・リモコンに商談拡大
- 取得した特許は海外展開を視野に海外審査請求中
- 拡販デモ機を開発し、高機能版の組込みソリューションを展開中で船舶操舵用等に用途が広がる

Tリーグのオフィシャルスポンサーに就任

当社グループは世界No.1の卓球リーグを目指すTリーグの理念に賛同し、一般社団法人Tリーグが運営する「Tリーグ」のオフィシャルスポンサー契約を締結しました。スポンサーとしてTリーグおよび所属選手を支援することによって、卓球競技の振興に貢献してまいります。

T.LEAGUE

RYOYO

株主メモ

■事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
■定時株主総会	4月
■株主確定基準日	期末配当　1月31日（中間配当を実施する時は7月31日） その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
■上場証券取引所	東京証券取引所第1部
■証券コード	8068
■株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■単元株式数	100株
■公告方法	電子公告により、当社ウェブサイトに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、 日本経済新聞に掲載いたします。 ＜公告掲載アドレス＞　https://www.ryoyo.co.jp/ir/public-notice

株式に関するお手続きについて

□住所変更、単元未満株式の買取・買増のご請求は、口座を開設されている証券会社にお問合せください。
なお、当社の単元未満株式の買取および買増請求に係る手数料は無料としております。
（証券会社等で別途手数料が発生する場合がございますので、詳細はお取引の証券会社等へご確認ください）

□未払配当金のお支払い、特別口座に記録された株式に関する諸手続き、その他株式事務に関する一般的なご質問は、
下記へお問合せください。

お問合せ先　：　三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
0120-232-711（通話料無料）
（土・日・祝祭日除く9：00～17：00）

菱洋エレクトロ株式会社
〒104-8408 東京都中央区築地一丁目12番22号（コンワビル）
TEL: 03-3543-7711（代表） FAX: 03-3545-3507

T.LEAGUE

菱洋エレクトロは
Tリーグを応援しています。

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080
www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK

Waterless Printing. Naturally.

この印刷物は、環境に配慮して「森林認証紙」、「植物油インキ」、「有害な廃液を出さない水なし印刷方式」を採用しています。